

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	機能解剖学	講義	4	60	スポーツ生理学 スポーツ整形外科
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
AT学科 1年生	鈴木 裕太郎	☐ 有 ☒ 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
本科目では、骨の部位や名称、その骨に関わる関節の構造や働きを理解し、その関節を動かす筋の名称、起始(付着)・停止や神経支配について学び、スポーツ動作のメカニズムを理解する際の基礎知識の習得をねらいとする。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
・骨、骨の各部位の名称を説明できる。 ・関節を定義し、関節の構造が関節の働きを決めている理由を説明できる。 ・関節の構造と機能の分類を説明できる。 ・筋の起始と停止、作用を説明できる。 ・身体における代表的な骨、関節、靱帯、筋・腱の特定が実践できる。 ・スポーツにおける基本動作(走跳投打)を解剖学的に説明できる。					
教科書・参考書					
共通科目リファレンスブック 運動器の機能と構造 各種参考資料					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		オリエンテーション スポーツ動作と運動器の機能と構造		/	
2		頭頸部・体幹の関与が大きい スポーツ動作		/	
3		頭頸部①		/	
4		頭頸部②		/	
5		頭頸部③		/	
6		体幹①		/	
7		体幹②		/	
8		体幹③		/	
9		上肢帯の関与が大きい スポーツ動作		/	
10		肩甲帯・肩関節・上腕部①		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		肩甲帯・肩関節・上腕部②		/	
12		肩甲帯・肩関節・上腕部③		/	
13		肘関節・前腕部①		/	
14		肘関節・前腕部②		/	
15		定期試験		/	
16		手関節・手指①		/	
17		手関節・手指②		/	
18		手関節・手指③		/	
19		下肢の関与が大きい スポーツ動作		/	
20		骨盤帯・股関節・大腿部①		/	

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		骨盤帯・股関節・大腿部②		/	
22		骨盤帯・股関節・大腿部③		/	
23		膝関節①		/	
24		膝関節②		/	
25		膝関節③		/	
26		下腿部・足関節・足部①		/	
27		下腿部・足関節・足部②		/	
28		下腿部・足関節・足部③		/	
29		まとめ		/	
30		定期試験		/	